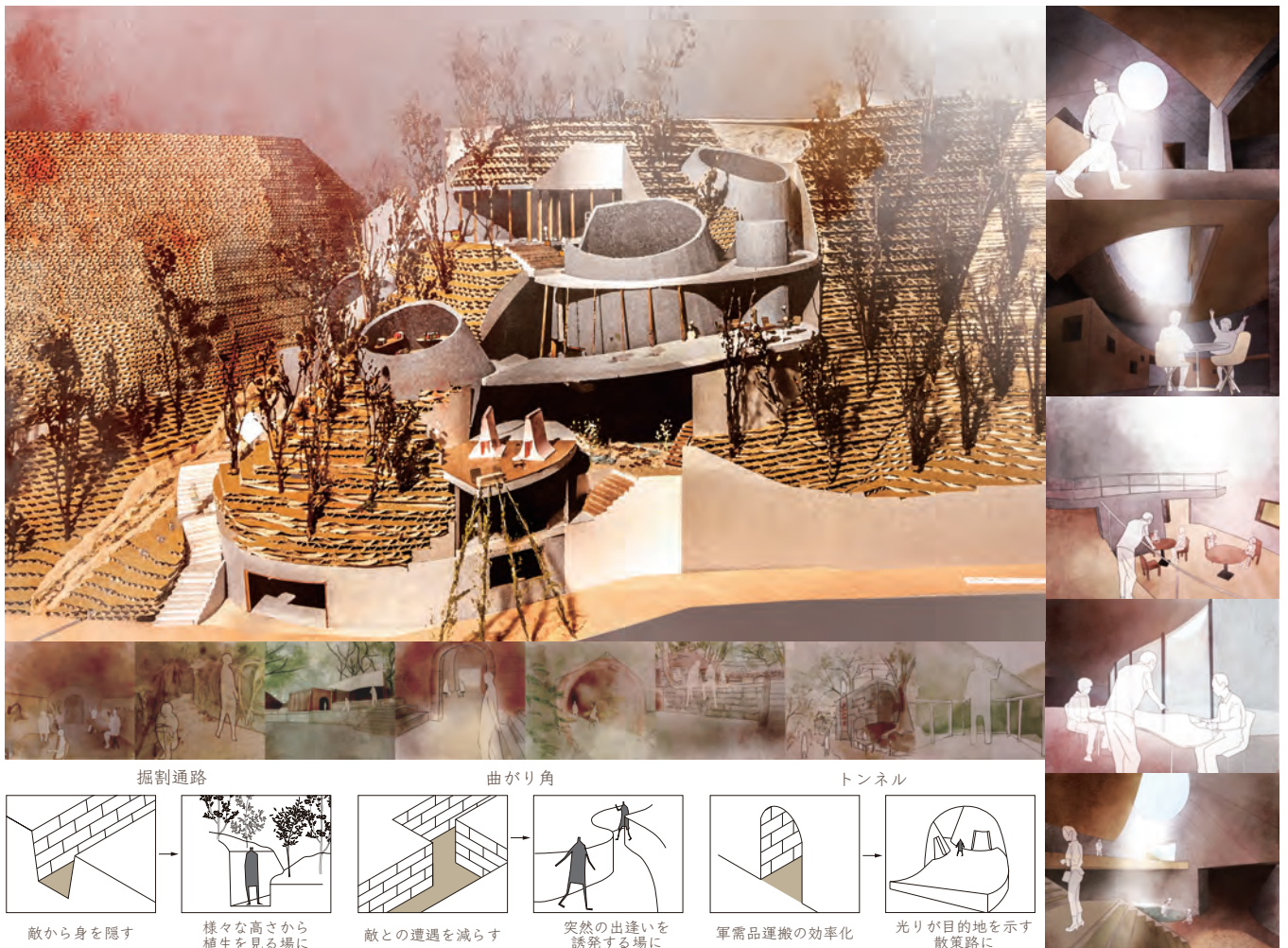


興復のとりで — 観音崎公園における歴史的財産と暮らしの融合 —

曾我部・吉岡研究室 毛利菜穂

研究概要： 観音崎公園は歴史的資産が多く残され、地域住民によるボランティア活動が盛んに行われている。観音崎公園に残されている歴史的資産を分析し、現在の用途に変換し歴史的資産の特徴を取り入れた、地域住民の活動拠点を提案する。

研究目的： 観音崎公園に残された歴史的資産を地域住民自ら活用するためのきっかけを作ることを目的とし、人間と人工物、生態系とのかかわり方を考える。



苦労した点や感想など：

歴史的資産は新たに手を加えることが難しく、利用者数も減少傾向にあるため、継承方法など、未来を考えながら進めることにとっても苦労した。卒業設計を通し、観音崎のボランティア活動に参加したことで地域の方々とかかわることができ、地域に対し強い思いを持って設計を進めることができたことを嬉しく思う。